

Chapter

02

STUDY PLAN-14F
入学生

01.履修申請	021
02.成績表の見方	026
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	027
04.卒業研究	029
05.卒業見込証明書	029
06.資格取得	030
07.飛び級制度	031
08.カリキュラム	032

01. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込むことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んで上で、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められませんので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については別に配布するWeb履修申請ガイドブックをご覧ください。

(1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数(卒業要件単位数)を充足できるよう重点をおいてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス等を確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

(2) 専門教育科目

1年次から各年次ごとに実験、実習、演習が開講されています。これらの科目は、2～3時限連続で開講されるものもあります。配当年次で修得できないと、次年度の必修科目と重複する場合がありますので注意してください。

(3) 手続方法

① 履修計画を立てる

配付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイドブック巻末にある「時間割下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレイメントテストの結果により履修指示がなされるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

② 登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

a. クラス登録科目応募

抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。

b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。）同時に、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。なお、期間内なら何度でも登録内容を変更することができます。登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

③ 言語文化科目

- ・担当教員は、後日掲示でお知らせします。決定した担当教員のクラスで履修申請をしてください。
- ・TOEICクラスの受講は、事前に実施した学カテストの基準に達した学生に限ります。
- ・第1希望にもれた場合は、同一曜日・時限の別のクラスに割当てられることがあります。
- ・新入生の英語については、プレイメントテストの結果発表に従って履修申請してください。履修を希望しない場合は、予め教務課に申し出てください。

④ 身体科学科目

- ・再履修者は、再クラスでの登録となります。
- ・リハビリコースクラスは、怪我などで運動に制限がある学生が対象となります。
- ・体育研究室からの注意事項は次の通りです。

〈体育研究室からのお願い〉

受講時の注意

- ① 出欠席を厳しくとります。身体科学科目が半期科目（前期で終了または後期で終了）の場合は、半年に3回までの欠席は認めますが、4回以上欠席した学生は不合格となり単位は認定されません。
- ② 「スポーツ科学」や「運動科学」は、講義日の3/4以上の出席が必要です。
- ③ 「スポーツ科学実習」について
 - ・服装は、運動服であれば高校で使用したもので差し支えありません。
 - ・運動服には、白い布に学籍番号と氏名を書いて左腕と右尻に縫い付けてください。
 - ・体育館内のコースを受講する学生は、運動靴に赤線を入れて室内専用に使ってください。
 - ・テニスコースを受講する学生は、テニスシューズを使用してください。
 - ・ロッカー使用の場合には、各自指定番号の鍵を使用し、授業時間ごとに借り出し、授業終了後ただちに返却してください。
- ④ 本科目の受講の指示は掲示で行いますから、体育館の掲示板を見るよう心掛けてください。
- ⑤ 前・後期両方とも同じ種目を取らないようにしてください。ただし、抽選で前・後期とも同じ種目になった場合は受講してください。
- ⑥ 「ボウリング」、「ゴルフ」については、ゲーム代等別途費用がかかります。

(4) 自由科目

他学部（自分の所属する学部以外）および他学科（自分の所属する学科以外）の専門教育科目（人間環境学部は展開科目）を、卒業までに30単位まで履修することができます。そのうち4単位までを、専門教育科目の選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。（これを「自由科目」と称します。）ただし、履修の認められない科目がありますので下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスを熟読のうえ選択してください。

自由科目は、Web履修申請画面で確認できる（表示されている）科目から選択してください。

機械工学科

他学部	他学科	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
人間環境	文化コミュニケーション、生活環境、スポーツ健康	4単位	製図、演習、実験、実習、外国書講読、卒業研究 ※その他各学科の事情等により除外する科目
経営	経営、商		
経済	経済、国際経済		
デザイン工	情報システム、建築・環境デザイン		
—	交通機械工、都市創造工、電子情報通信工		

(5) 履修制限

機械工学科には以下の履修制限がありますので、注意してください。

14F学生に適用

1年間に履修できる単位数	最大50単位(教職に関する専門教育科目を除く)	
学年による科目の制限	1年次:1年次配当科目を履修することができます。 2年次:1,2年次配当科目を履修することができます。 3年次:1~3年次配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。"	
実践教育科目	卒業までに卒業要件8単位以上を修得し、総合教育科目(20単位以上)、専門教育科目(88単位以上)と合わせて124単位以上修得してください。	
総合教育科目	卒業までに卒業要件20単位以上を修得し、実践教育科目(8単位以上)、専門教育科目(88単位以上)と合わせて124単位以上修得してください。ただし、3年次修了時までに最低要件20単位以上を修得しなければ、次年度「卒業研究」を履修することはできません。	
	教養教育科目	■留学生は、日本文化8単位を必修とします。
	言語文化科目	■卒業要件単位数は、8単位以上(うち英語の卒業要件単位数を4単位以上)とします。(英語のみも可)(留学生除く) ①英語は入学初年度に限り、プレイスメントテストの結果により習熟度別クラスに分けます。 ■初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語)を履修する場合は、必ず「入門1」から履修してください。 ■留学生は、 ①母語を履修することはできません。 ②日本語8単位を必修とします。
専門教育科目	■プレイスメントテストの点数が基準に満たない者は、「基礎数学および演習」を履修しなければなりません。また、初年度の前期に限り「解析学1」、「代数学1」を履修することはできません。 ■卒業までに卒業要件88単位以上を修得し、実践教育科目(8単位以上)、総合教育科目(20単位以上)と合わせて124単位以上を修得してください。	
その他	既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。	

02. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

進級・卒業判定欄

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業	4留
1年	2年	3年	4年	卒業できる	卒業延期

来年度欄 (3年生以上)

卒見証発行	有	無	
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可	
卒研資格	有	無	済
	卒業研究履修資格有	卒業研究履修資格無	卒業研究修得済

※卒業研究の有資格者に卒業見込証明書を発行します。

- ・卒業研究履修資格欄 (3年生以上)

学年末に発表する成績表には、次年度の「卒業研究」履修の可否が表示されます。

03. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

①4年間（編入生は2年間）以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年（編入生は2年）で卒業することができません。

②学科で定められた卒業要件単位124単位以上（編入生は別途定める）を修得

カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

(1) 卒業要件単位数

実践教育科目		8単位以上		20 単 位 以 上	124 単 位	学士(工学)
総合 教育 科目	教養教育 科目	教養入門ゼミ	要件なし			
		人文科学	要件なし			
		社会科学	要件なし			
		自然科学	要件なし			
		学際領域	要件なし			
		日本文化	(留学生に限る) 8単位			
言語文化 科目	英語	4単位以上	}8単位以上			
	初修外国語					
	日本語	(留学生に限る) 8単位				
身体科学科目		要件なし				
専門教育科目		必修および選択科目の単位を合わせて、 88単位以上(自由科目4単位を含む)				
4年以上在学						

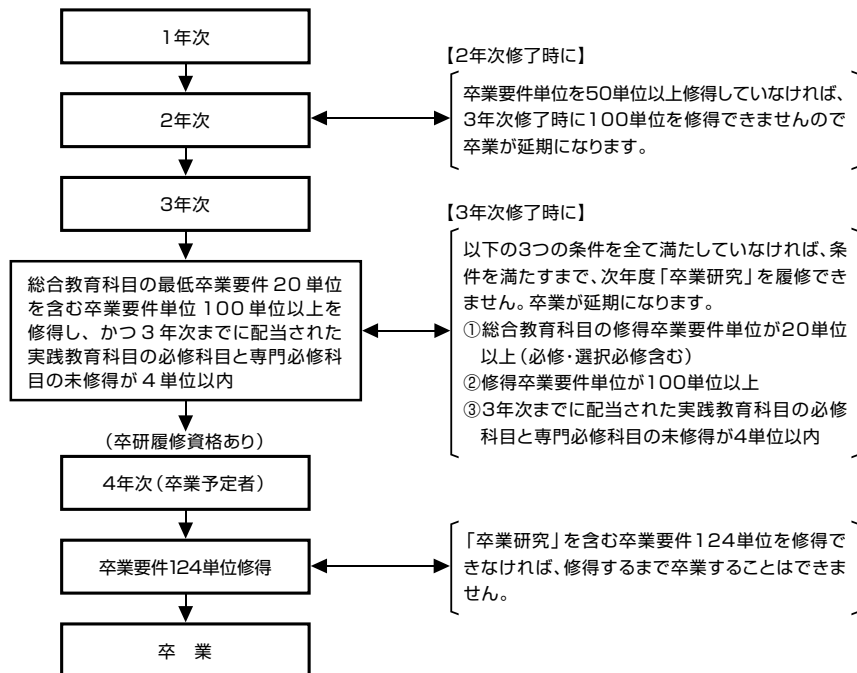
注)留学生は、教養教育科目分野の日本文化8単位および言語文化科目分野の日本語8単位を必須とする。

(2) 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、3年次修了時点で卒業研究履修資格の条件を満たしていなければ、4年間で卒業できなくなります。また、進級するためには、1年を通じて在学していなければなりません。

なお、1年間で最大50単位の履修制限がありますので、計画的に修学してください。

— 進級および卒業までの流れ —



(3) 卒業要件単位の履修要件

【実践教育科目】 8単位以上

必修科目（卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。）の2科目3単位を含む8単位以上を修得してください。

【総合教育科目】 20単位以上

①必修科目※留学生のみ（卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。）

留学生は、日本文化科目群の4科目8単位、日本語科目群の8科目8単位を必ず修得してください。

②選択必修科目（特定の科目群から指定された単位を修得します。）

言語文化科目分野から、英語科目4単位以上を含み8単位を修得してください。英語のみで8単位を修得してもかまいません。ただし、留学生は日本語8単位が必修なので、修得しなくてもかまいません。

③選択科目（必修・選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。）

①②以外に、12単位以上（留学生は4単位以上）を修得してください。

【専門教育科目】88単位以上

- ①必修科目（卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。）
 専門基礎科目群の6科目12単位、機械工学専門基礎科目群の10科目20単位、卒業研究・ゼミナール科目群の2科目6単位、計38単位を必ず修得してください。
- ②選択科目（必修科目以外の中から自由に選んで修得します。）
 ①以外に、50単位以上を修得してください。

実践教育科目と総合教育科目と専門教育科目の最低要件単位は合わせて116単位です。卒業要件124単位に不足する8単位については、実践・総合・専門各々の最低要件単位数を超えた単位で補ってください。

04. 卒業研究

(1) 卒業研究

卒業するためには、「卒業研究」（4年次配当科目）を修得しなければなりません。「卒業研究」を履修するためには、3年次修了までに履修資格を得ることが必要です。

「卒業研究」の履修についての質問や相談がある場合は、Web履修申請をする前に教務課に相談してください。また、卒業予定者で、時間割上卒業要件単位数を満たす履修申請ができない場合も、教務課窓口で相談してください。

(2) 「卒業研究」の履修資格

「卒業研究」を履修するためには、次の3つの条件を満たさなければなりません。

- ①総合教育科目の修得卒業要件単位が20単位以上（必修・選択必修含む）であること。
- ②修得卒業要件単位が100単位以上であること。
- ③3年次までに配当された実践必修科目と専門必修科目の未修得単位が4単位以内であること。

05. 卒業見込証明書

「卒業研究」の履修資格を得た学生は、同時に卒業予定者となり、4年次になった4月から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機（本館1階、クリスタルテラス）を利用してください。

06. 資格取得

学科によって、卒業または特定の科目を修得することを条件に資格や免許の取得で優遇されるものがあります。以下の一覧表を参考に履修コースや履修科目を選択してください。

(1) 教員免許状

免許(資格)の種類	対象学科	取得の要件
高等学校教諭一種免許状(工業)	工学部全学科	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と教職専門科目の修得(詳細は教職ガイダンスで説明します。)
高等学校教諭一種免許状(情報)	電子情報通信工学科	
高等学校教諭一種免許状(数学)		
中学校教諭一種免許状(数学)		

(2) 学科あるいは特定科目の修得によって認定される資格

資格の種類	認定の内容	対象学科・コース	取得の要件
二級ガソリン自動車整備士	受験資格 ※実技試験免除	交通機械工学科の 自動車工学コース	特定科目の修得および卒業 ※卒業年次10~3月実施の 「整備技術講習」修了で 実技試験免除
二級ジーゼル自動車整備士			
一級建築士	受験資格	都市創造工学科の 総合・構造・環境コース	特定科目の修得および卒業後の 実務経験(2~4年)
二級・木造建築士		都市創造工学科	特定科目の修得および卒業後の 実務経験(0~2年)
技術士補	申請による 資格取得	都市創造工学科の 総合コース	総合コースの修了 (認定申請中)
測量士補	申請による 資格取得	都市創造工学科	「測量学1」、「測量学実習」の 修得および卒業 ※実務経験により測量士の 資格取得可
電気通信主任技術者 〔伝送交換主任 線路主任〕	受験科目 一部免除	電子情報通信工学科	特定科目の修得
電気通信の工事担任者			特定科目の修得および卒業
第一級陸上特殊無線技士	申請による 資格取得	電子情報通信工学科	特定科目の修得および卒業
第二級海上特殊無線技士			
社会福祉主事	任用資格	全学科	特定科目の修得および卒業
社会保険労務士	受験資格	全学科	卒業要件に必要とする 62単位以上修得

(3) 本学で実施する資格試験

資格の種類	対象学科	取得の要件・その他
日本商工会議所認定簿記検定試験2・3・4級	全学科	試験合格(年3回実施されますが、本学では6月と11月の年2回を学内で実施します。申込方法は、掲示板でお知らせします。)
ガス溶接技能者	全学科	ガス溶接技能講習修了

07. 飛び級制度

飛び級制度とは、「学校教育法施行規則第70条第1項第4号」により導入された制度です。

大学院へ進む場合、大学を卒業してから大学院へ入学するのが一般的ですが、特に優秀な学生で、大学に3年以上在学し、かつ研究者として優れた資質を有する者に早期から大学院教育を実施する道をひらくのが飛び級制度です。

この制度を適用する場合、以下の「大学院学則」および「大学院学則の適用基準に関する工学研究科内規」に基づき実施されます。

この規程により大学院への入学資格を認められると、大学と大学院の両方に在籍することはできませんので、合格者はすみやかに在籍する大学の退学手続きをとり、大学院入学手続きをしてください。詳細についての問い合わせは、教務課に相談してください。

なお、種々の国家試験等の受験資格では、大学の学部卒業を要件としているものがあります。その場合は、不利となることを承知しておく必要があります。

参考

— 飛び級入学資格 —

平成18年4月以降に工学部に入学した学生が飛び級での大学院入学資格を得るためには、以下の条件を全て満たしてください。

- ① 本学工学部に1年次より在学
- ② 4年次配当の必修科目を除く卒業要件単位を全て修得、かつ124単位以上修得
- ③ 全修得科目の平均点が88点以上
- ④ 当該学科で推薦

08. カリキュラム

(1) 実践教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
実践 教育 科目	学科入門ゼミナール	①	8 以上	2									(集中)
	ものづくり演習	②			4								
	コンピュータ演習	2		2									
	日本語とコミュニケーション1	1		2									
	日本語とコミュニケーション2	1			2								
	キャリアプランニング	2				2							
	キャリアデザイン1	1					2						
	キャリアデザイン2	1						2					
	インターンシップ	2						2					
大阪産業大学と社会	1		2	(2)									
小 計		14	8以上	8	6	2	2	4	0	0	0		

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次には1年次の、2年次には1、2年次の、3年次には1、2、3年次の、4年次には1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

(2) 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考										
				1年次		2年次		3年次		4年次												
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期											
総合教育科目	人文科学	教養入門ゼミ	2	20以上	2																	
		文 学	2		2																	
		哲 学	2		2																	
		論 理 学	2		2																	
		心 理 学	2		2																	
	社会科学	社会思想史	2		2																	
		日本国憲法	2																			
		現代の政治	2				2															
		経済学の基礎	2				2															
	自然科学	近代史	2				2															
		地理学	2				2															
		物質科学	2				2															
	国際領域	宇宙科学	2				2															
		環境科学	2				2															
		生命科学	2				2															
		現代数学入門	2				2															
		平和学	2				2	(2)														
		時事問題	2					2														
		外国の社会と文化	2					2														
		倫理学(工業論理を含む)	2					2														
科学技術史		2				2																
日本文化		日本事情 1	②			2															留学生向け科目	
	日本事情 2	②				2														留学生向け科目		
	日本の社会と文化 1	②			2															留学生向け科目		
	日本の社会と文化 2	②				2														留学生向け科目		

注) 総合教育科目の履修要件

- イ 1年次配当の英語については、プレースメントテストを実施し、その結果に基づいて、習熟度別にクラスを分ける。
ただし、英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない。
- ロ 英語は「4単位以上」必修であるが、この規定は留学生には適用しない。
- ハ 初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語)は複数の言語を卒業要件単位に算入することも可能とする。
ただし、各言語は、必ず「入門1」から履修しなければならない。
- ニ 留学生は、日本文化の4科目8単位および日本語の8科目8単位を必修とする。
なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。
- ホ 留学生には英語のプレースメントテストを実施しない。

(○印は必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専 門 教 育 科 目	メカトロニクス	2	(必修38・ 選択50以上 合計88以上)					2						
	電気・電子工学	2				2								
	計測工学	2					2							
	材料工学	2		2										
	新素材工学	2			2									
	機構学	2		2										
	機械要素設計1	2			2									
	機械要素設計2	2				2								
	図形処理工学	2			2									
	工業デザイン	2						2						
	機械工作法1	2				2								
	機械工作法2	2					2							
	接合工学	2						2						
	切削加工学	2							2					
	塑性加工学	2								2				
	生体力学	2			2									
	医工学概論	2				2								
	再生医工学	2					2							
	バイオメカニクス	2							2					
	福祉工学	2							2					
	人間工学概論	2								2				
	情報技術	2								2				
	工業英語	2									2			
非破壊検査1	2						2							
非破壊検査2	2							2						
資格取得講座	2								2					
知的財産	2									2				
ゼミナール科目 卒業研究・ ゼミナール科目	ゼミナール	②						2						
	卒業研究	④									8	8		
小 計		130	88以上	22	18	28	22	22	22	10	8			
実践教育科目、総合教育科目、専門教育科目 合 計		248	124	74	62	58	52	34	30	10	8			

注)専門教育科目の履修要件

イ 基礎科目の取り扱い

「基礎数学および演習」については、プレイスメントテストの点数が基準に満たない者は、履修しなければならない。

また、入学初年度の前期に限り、専門基礎科目分野の対応する科目「解析学1」および「代数学1」を履修することができない。

ただし、プレイスメントテストの点数が基準を満たした者および専門基礎科目分野の科目「解析学1」、「解析学2」、「代数学1」および「代数学2」のいずれかを修得した者は、「基礎数学および演習」を履修することができない。

Chapter

02

STUDY PLAN-12F
編入生

01.入学区分	039
02.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	040
03.卒業研究	043
04.卒業見込証明書	043
05.カリキュラム	044

01. 入学区分

編入生は、入学区分(資格)がイ、ロの2つに分かれます。個人別区分は機械工学科において審査・認定されます。

区 分	該 当 者
イ	学則第13条第2項第1、2、4および5号の何れかに該当する者または本学において同等以上の学力があると認められた者
ロ	学則第13条第2項第3号に該当する者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者

学則第13条第2項

- (1)大学院を修了した者または大学を卒業した者
- (2)短期大学を卒業した者または高等専門学校を卒業した者
- (3)専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上)を修了した者
- (4)大学に2年以上在学し、62単位以上(卒業要件に算入されるもの)を修得した者
- (5)外国において本邦の高等教育課程と同等の課程を修了した者
- (6)本大学が指定する外国の高等教育機関において、前第4号に定める者と同等の資格を取得したと認定された者

02. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

(1) 卒業要件単位数

編入生の卒業要件単位数は、次のとおりです。入学区分（イ、ロ）により異なりますので間違わないよう注意してください。

<区分イ>学則第13条第2項第1、2、4および5号の何れかに該当する者または本学において同等以上の学力があると認められた者

実践教育科目		} 8単位以上	必修科目 12単位 選択科目 50単位 (自由科目4単位を含む。)	62 単位	学士(工学)
専門教育科目	機械工学専門基礎科目				
	機械工学専門応用科目				
	卒業研究・ゼミナール科目				
2 年 以 上 在 学					

【総合教育科目】

総合教育科目は卒業要件単位に入りません。

【実践教育科目および専門教育科目】62単位

①必修科目

「材料力学1」、「材料力学2」、「材料力学演習」、「ゼミナール」および「卒業研究」の5科目12単位を必ず修得してください。

②選択科目

①以外に、実践教育科目および専門教育科目から合わせて50単位を修得しますが、そのうち実践教育科目と機械工学専門基礎科目群から合わせて8単位以上修得してください。

※専門基礎科目群の科目を修得しても卒業要件単位には入りません。

※「学科入門ゼミナール」、「日本語とコミュニケーション1、2」、「大阪産業大学と社会」、「創造設計1、2」および「基礎数学および演習」は履修することができません。

<区分口>学則第13条第2項第3号に該当する者もしくは本学において同等以上の学力があると認められた者

総合教育科目		12単位		74 単位	学士(工学)	
実践教育科目		} 12単位以上	必修科目 12単位 選択科目 50単位 (自由科目4単位を含む。)			62 単位
専門教育科目	専門基礎科目					
	機械工学専門基礎科目					
	機械工学専門応用科目					
卒業研究・ゼミナール科目						
2 年 以 上 在 学						

【総合教育科目】12単位

【実践教育科目および専門教育科目】62単位

①必修科目

「材料力学1」、「材料力学2」、「材料力学演習」、「ゼミナール」および「卒業研究」の5科目12単位を必ず修得してください。

②選択科目

①以外に、実践教育科目および専門教育科目から合わせて50単位を修得しますが、そのうち実践教育科目と専門基礎科目群、機械工学専門基礎科目群から合わせて12単位以上修得してください。

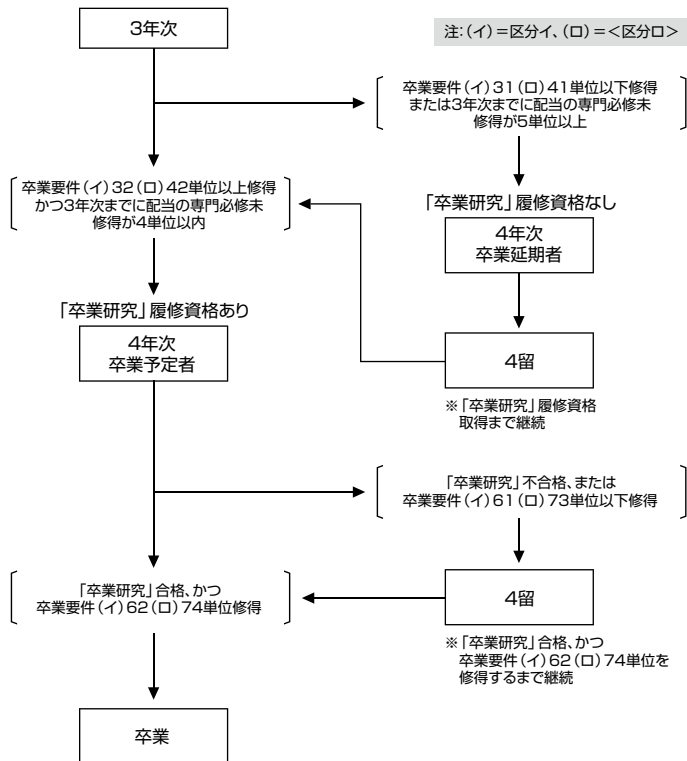
※「教養入門ゼミ」、「学科入門ゼミナール」、「日本語とコミュニケーション1、2」、「大阪産業大学と社会」、「基礎数学および演習」および「創造設計1、2」は履修することができません。

(2) 進級の条件

編入生は、1年間に最大54単位まで履修申請することができます。修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、3年次修了時点で卒業研究履修資格の条件を満たしていなければ、2年間で卒業できなくなります。

また、進級するためには、1年を通じて在学していなければなりません。

—進級および卒業までの流れ—



03. 卒業研究

(1) 卒業研究

卒業するためには、「卒業研究」(4年次配当科目)を修得しなければなりません。「卒業研究」を履修するためには、3年次修了までに履修資格を得ることが必要です。

「卒業研究」の履修についての質問や相談がある場合は、Web履修申請をする前に教務課に相談してください。また、卒業予定者で、時間割上卒業要件単位数を満たす履修申請ができない場合も、教務課窓口で相談してください。

(2) 「卒業研究」の履修資格

「卒業研究」を履修するためには、次の2つの条件を満たさなければなりません。

- ①入学区分によって以下の卒業要件単位を修得していること。

区分イ:32単位以上

区分ロ:42単位以上

- ②3年次までに配当された専門必修科目の未修得が4単位以内であること。

04. 卒業見込証明書

「卒業研究」の履修資格を得た学生は、同時に卒業予定者となり、4年次になった4月から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機(本館1階、クリスタルテラス)を利用してください。

05. カリキュラム

(1) 区分イ

①総合教育科目は卒業要件単位に入りません。

②実践教育科目

(単位数の一印は履修できない科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
実践 教育 科目	学科入門ゼミナール	—	機械工学専門基礎科目と 合わせて8以上	—								**
	ものづくり演習	2			4							
	コンピュータ演習	2		2								
	日本語とコミュニケーション1	—		—								**
	日本語とコミュニケーション2	—		—								**
	キャリアプランニング	2				2						
	キャリアデザイン1	1					2					
	キャリアデザイン2	1						2				
	インターンシップ	2						2				(集中)
大阪産業大学と社会	—		—	—							**	
小 計												

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次には1年次の、2年次には1、2年次の、3年次には1、2、3年次の、4年次には1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

③ 専門教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目・一印は履修できない科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専 門 基 礎 科 目	基礎数学および演習	1	—	—	—							**	
	解析学 1	2	2	2	(2)							*	
	解析学 2	2	2		2	(2)						*	
	解析学 3	2	2			2						*	
	代数学 1	2	2	2	(2)							*	
	代数学 2	2	2		2	(2)						*	
	代数学 3	2	2			2						*	
	物理学 1	2	2	2	(2)							*	
	物理学 1 演習	2	2	2	(2)							*	
	物理学 2	2	2		2							*	
	物理学 2 演習	2	2		2							*	
	物理学実験	2	2	4	(4)							*	
化学	2	2		2							*		
機 械 工 学 専 門 基 礎 科 目	機械工学実験	2	2			4	(4)						
	機械製図/CAD&工作実習	2	2			4	(4)						
	創造設計 1	—	—					—				**	
	創造設計 2	—	—						—			**	
	工業力学 1	2	2	2									
	工業力学 2	2	2		2								
	工業力学演習	2	2		2								
	材料力学 1	②	2			2							
	材料力学 2	②	2				2						
	材料力学演習	②	2				2						
	機 械 工 学 専 門 応 用 科 目	応用数学 1	2	2			2						
		応用数学 2	2	2				2					
流体力学 1		2	2			2							
流体力学 2		2	2				2						
トライボロジー		2	2					2					
熱工学 1		2	2			2							
熱工学 2		2	2				2						
振動工学		2	2					2					
機械力学		2	2						2				
制御工学 1		2	2						2				
制御工学 2		2	2							2			

必修 12 ・ 選択 50 以上 合計 62 以上

(○印は必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専 門 教 育 科 目	メカトロニクス	2	(必修12・ 選択50以上 合計62以上)						2					
	電気・電子工学	2				2								
	計測工学	2						2						
	材料工学	2		2										
	新素材工学	2			2									
	機構学	2		2										
	機械要素設計1	2			2									
	機械要素設計2	2				2								
	図形処理工学	2			2									
	工業デザイン	2						2						
	機械工作法1	2			2									
	機械工作法2	2				2								
	接合工学	2						2						
	切削加工学	2							2					
	塑性加工学	2								2				
	生体力学	2			2									
	医工学概論	2				2								
	再生医工学	2					2							
	バイオメカニクス	2							2					
	福祉工学	2							2					
	人間工学概論	2								2				
	情報技術	2									2			
	工業英語	2										2		
非破壊検査1	2							2						
非破壊検査2	2								2					
資格取得講座	2									2				
知的財産	2										2			
ゼミナール科目	ゼミナール	②							2					
	卒業研究	④									8	8		
小 計														
実践教育科目、専門教育科目 合計			62											

注) 実践教育科目および専門教育科目の履修要件

- ・卒業要件単位に算入しない科目
- ・表中備考欄に「*」印のついた科目は履修しても卒業要件単位に入らない。「**」印のついた科目は履修できない。
- ・実践教育科目および機械工学専門基礎科目より、必修科目を含め8単位以上修得すること。
- ・選択科目50単位は実践教育科目および専門教育科目から修得すること。

(2) 区分口

① 総合教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目・一印は履修できない科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
総合 教育 科目	教 養 入 門 ゼ ミ	1	12 以上	—								**
	文 学	2		2								
	哲 学	2		2								
	論 理 学	2		2								
	心 理 学	2		2								
	社 会 思 想 史	2		2								
	日 本 国 憲 法	2			2							
	社 会 科 学	2			2							
	現 代 の 政 治	2			2							
	経 済 学 の 基 礎	2			2							
	近 代 史	2			2							
	地 理 学	2			2							
	自 然 科 学	2			2							
	物 質 科 学	2			2							
	宇 宙 科 学	2			2							
	環 境 科 学	2			2							
	生 命 科 学	2			2							
	現 代 数 学 入 門	2			2							
	学 際 領 域	2			2	(2)						
	平 和 学	2				2						
時 事 問 題	2			2								
外 国 の 社 会 と 文 化	2			2								
倫 理 学 (工 業 論 理 を 含 む)	2			2								
科 学 技 術 史	2			2								
日 本 事 情 1	2			2						留学生向け科目		
日 本 事 情 2	2			2						留学生向け科目		
日 本 の 社 会 と 文 化 1	2			2						留学生向け科目		
日 本 の 社 会 と 文 化 2	2			2						留学生向け科目		

注) 備考欄に**印のあるものは履修できません。

注)総合教育科目の履修要件

- イ 「教養入門ゼミ」(**)は、履修できない。
- ロ 英語の科目は、授業内容により、以下の2グループに分ける。
 - (1)「英語(Listening&Speaking)」
一般クラス(TOEIC(Listening)を含む)およびTOEIC上級(Listening)
 - (2)「英語(Reading&Writing)」
一般クラス(TOEIC(Reading)を含む)およびTOEIC上級(Reading)
- ハ 初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語)は複数の言語を卒業要件単位に算入することも可能とする。
ただし、各言語は、必ず「入門1」から履修しなければならない。
- ニ 留学生は、言語文化科目として母語を履修することはできない。

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

②実践教育科目

(単位数の一印は履修できない科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期		
実践 教育 科目	学科入門ゼミナール	—	機械工学専 門基礎科目と 合わせて12 以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	**
	ものづくり演習	2		—	4	—	—	—	—	—	—	—	—
	コンピュータ演習	2		2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日本語とコミュニケーション1	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	**
	日本語とコミュニケーション2	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	**
	キャリアプランニング	2		—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	キャリアデザイン1	1		—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
	キャリアデザイン2	1		—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
	インターンシップ	2		—	—	—	—	2	—	—	—	—	(集中)
大阪産業大学と社会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	**		
小 計			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次には1年次の、2年次には1、2年次の、3年次には1、2、3年次の、4年次には1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

③専門教育科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目・一印は履修できない科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備考				
				1年次		2年次			3年次		4年次	
				前 期	後 期	前 期	後 期		前 期	後 期	前 期	後 期
専 門 教 育 科 目	基礎数学および演習	1	2	—	—					**		
	解析学 1	2	2	2	(2)							
	解析学 2	2	2		2	(2)						
	解析学 3	2	2			2						
	代数学 1	2	2	2	(2)							
	代数学 2	2	2		2	(2)						
	代数学 3	2	2			2						
	物理学 1	2	2	2	(2)							
	物理学 1 演習	2	2	2	(2)							
	物理学 2	2	2		2							
	物理学 2 演習	2	2		2							
	物理学実験	2	2	4	(4)							
	化学	2	2		2							
	機械工学実験	2	2			4	(4)					
	機械製図/CAD&工作実習	2	2			4	(4)					
	創造設計 1	—	—				—			**		
	創造設計 2	—	—				—			**		
	工業力学 1	2	2	2								
	工業力学 2	2	2		2							
	工業力学演習	2	2		2							
	材料力学 1 ②	②	②			2						
	材料力学 2 ②	②	②				2					
	材料力学演習 ②	②	②				2					
	応用数学 1	2	2			2						
	応用数学 2	2	2				2					
	流体力学 1	2	2			2						
	流体力学 2	2	2				2					
トライボロジー	2	2					2					
熱工学 1	2	2			2							
熱工学 2	2	2				2						
振動工学	2	2				2						
機械力学	2	2					2					
制御工学 1	2	2					2					
制御工学 2	2	2					2					

必修 12・選択 50 以上
合計 62 以上

(○印は必修科目)

12
F

区分	科目	単位	卒業資格 最低 単位数	週 時 間 数								備 考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期				
専 門 教 育 科 目	メカトロニクス	2	(必修12・ 選択50以上 合計62以上)					2							
	電気・電子工学	2				2									
	計測工学	2						2							
	材料工学	2			2										
	新素材工学	2				2									
	機 構 学	2			2										
	機械要素設計1	2				2									
	機械要素設計2	2					2								
	図形処理工学	2				2									
	工業デザイン	2							2						
	機械工作法1	2				2									
	機械工作法2	2					2								
	接合工学	2						2							
	切削加工学	2							2						
	塑性加工学	2								2					
	生体力学	2				2									
	医工学概論	2					2								
	再生医工学	2						2							
	バイオメカニクス	2								2					
	福祉工学	2									2				
	人間工学概論	2									2				
	情報技術	2										2			
	工業英語	2											2		
	非破壊検査1	2									2				
	非破壊検査2	2										2			
資格取得講座	2										2				
知的財産	2											2			
ゼミナール科目 卒業研究・ 卒業研究	ゼミナール	②							2						
	卒業研究	④										8	8		
小 計															
実践教育科目、専門教育科目 合計			62												

注) 実践教育科目および専門教育科目の履修要件

- ・卒業要件単位に算入しない科目
- ・表中備考欄に「*」印のついた科目は履修しても卒業要件単位に入らない。「**」印のついた科目は履修できない。
- ・実践教育科目および専門基礎科目・機械工学専門科目より、必修科目を含め12単位以上修得すること。
- ・選択科目50単位は実践教育科目および専門教育科目から修得すること。